

(一社) 応用脳科学コンソーシアム 2024 年度キックオフシンポジウム

今、なぜ日本企業に「美と感性」が必要なのか ～ AI の時代に脳から考える日本企業の経営～

多くの日本企業の競争力の源泉であり、「モノづくり」をけん引してきた日本人の「美意識」や「感性力」。これらは日本の新たな成長エンジンとして期待されているエンターテインメント・観光等の「コト消費」においても重要な役割を果たす。昨今の生成系 AI や大規模言語モデル (LLM) の急速な進化は、AI と人間の連携を迫っている。私たちにこれからどのような力が求められるのか、私たちの脳に備わっている能力をどう活用していくのかという大きな課題を突き付けている。本シンポジウムでは、デザインやアートといった「美」の観点、感動や興奮、愛着といった「感性」の視点、そしてそれらの基盤となる「脳科学」の視点から日本企業に必要な「美と感性」の力や、AI との連携可能性について問う。

6.7(金)13:00 ~ 16:45

JA 共済ビル カンファレンスホール
(ハイブリッド開催)

参加費無料 (懇親会参加 4,000 円)

お申込み方法

下記の URL か 2 次元コードよりお申込みください
<https://www.can-neuro.org/news/can2024kickoff/>

現地会場参加申込締切: 6/2(日) 23:59

オンライン参加申込締切: 6/7(金) 13:00

会場定員: 120 名



■ 脳科学スペシャルセミナー

「揺らぎを使う生物の桁違いの省エネルギーアルゴリズムと AI への応用」

柳田 敏雄 CAN 代表理事・会長

スーパーコンピュータ「富岳」は、30MWh もの電力を使用する。一方、思考中の脳の消費エネルギーはたった 1W。性能の差はあれ、これほどに桁違いな脳の省エネの仕組みとはどのようなものか、AI など機器開発への応用の可能性について語っていただきます。

■ 基調講演

「日本人の美意識と企業経営～日本的経営とは何か」

前田 育男氏 マツダ (株) エグゼクティブフェロー ブランドデザイン

安く、性能がよく、信頼性が高いだけでは、海外の新興企業に追いつかれてしまう。自分たちのオリジンを見つけて、ブランド価値を高めることが企業としての存続に不可欠。その様な思いから、いかにしてマツダは、世界一美しいクルマを生み出せるようになったのか。かつてフォードの傘下であったこともあり、日米欧の「感性」の違いを熟知されている前田氏にお話いただきます。

■ パネルディスカッション

「企業経営における『美意識と感性』とは ～ AI と脳の融合による日本企業の競争力のシン原点を探る」

プログラム

- 13:00 ~ 13:10 **開会挨拶** 岩本 敏男 CAN 代表理事・理事長
- 13:10 ~ 13:45 **脳科学スペシャルセミナー**
「揺らぎを使う生物の桁違いの省エネアルゴリズムと AI への応用」
柳田 敏雄 CAN 代表理事・会長
- 13:45 ~ 14:55 **基調講演**
「日本人の美意識と企業経営～日本的経営とは何か」
マツダ株式会社 エグゼクティブフェロー ブランドデザイン 前田 育男 氏
- 14:55 ~ 15:05 **ショートブレイク**
- 15:05 ~ 15:40 **CAN2024 活動紹介**
- 15:40 ~ 16:40 **パネルディスカッション**
「企業経営における『美意識と感性』とは
～ AI と脳の融合による日本企業の競争力のシン原点を探る」
前田 育男 氏
関西大学 文学部 心理学専修 教授 石津 智大 氏
文化庁 文化経済・国際課 専門官（経済産業省より出向中）工藤 さやか 氏
モデレーター CAN 事務局長 萩原 一平
- 16:40 ~ 16:45 **閉会の挨拶**
- 16:45 ~ 17:00 **ショートブレイク**
- 17:00 ~ 19:00 **懇親会**



前田 育男 氏

マツダ株式会社 エグゼクティブフェロー ブランドデザイン

【経歴】

1982年京都工芸繊維大学 意匠工芸学科卒業後、東洋工業株式会社（現マツダ株式会社）入社。2009年デザイン本部長に就任し、マツダブランドの全体を貫くデザインコンセプト「魂動」を立ち上げ、数多くの量産車デザイン、CI/店舗などのブランドスタイルを手掛ける。2013年執行役員、2016年常務執行役員デザイン・ブランドスタイル担当。2022年より現職。新たなMSブランドであるMAZDA SPIRIT RACINGの代表兼レーシングドライバーを務める。広島市立大学芸術学部客員教授。「平成31年度知的財産権制度関係功労賞」受賞。2023年英国「MOTORING HALL OF FAME」自動車殿堂選出。



石津 智大 氏

関西大学 文学部 心理学専修 教授

【経歴】

2009年に慶應義塾大学大学院社会学研究科心理学専攻で心理学博士号を取得し渡欧。ロンドン大学ユニバーシティ校（UCL）生命科学部生物科学科リサーチフェロー（2009-2016）、ウィーン大学心理学部心理実験法学科リサーチャー・客員講師（2016-2018）、ロンドン大学ユニバーシティ校生命科学部生物科学科シニアリサーチフェロー（2018-2020）などを経て現職。広島大学脳・こころ・感性研究センター客員教授（2022-）。脳科学研究の啓蒙団体である米国 Dana Foundation 欧州メンバー。



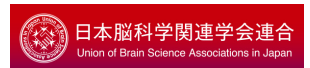
工藤 さやか 氏

文化庁 文化経済・国際課 専門官（経済産業省より出向中）

【経歴】

東京大学教育学部卒業。新卒にて伝統・エンタメ業界に就職し、政府委託事業や興行担当を経験。その後、公演宣伝と伝統文化の広報・宣伝業務に従事した。経産省入省後は、商務・サービスグループにおいてサービス業の生産性向上や、教育産業室の「未来の教室」プロジェクト立ち上げに携わった後、貿易経済協力局においてスマートシティ・デジタルインフラの海外展開、日中第三国市場協力等を推進。コロナ禍を受けてサプライチェーンの分断リスクを低減するための「海外サプライチェーン多元化等支援事業」立ち上げに携わった後、現職。

後援



協賛



株式会社NTTデータ経営研究所